

わがままな コピーと  
がっこう ともだち  
学校の友達

なかなお  
4巻：仲直りのしかた



文 さくらい ゆうせい  
絵 うすい ゆみこ

ちよなかつとわる仲が悪がっこうくなっていた学校のともだち友達は

これから2じげんめ時限目の授業で「しゅぎょう仲直りのしかた」を  
教おしえてもらうよういです。ラムは言いいました。

「せんせい先生、はやくつぎ次の授業をはじ始めてくだ下さい。

わたし私 もつとよみんなの良ひいところを引だき出して

学校がっこうを楽たのしくしたいんです！いま今はまだケンカおおが多いけど

やさみんな優しい心ねいろの音色もを持っているんです！」

それを聞きいた学校がっこうのみんなもだいさんせい大賛成ししました。



クローバー畑に移動した校長先生は言いました。

「仲直りの基本は、友達の話をよく聴くこと。

それにはまず、4つのコツを覚えるのじゃ！

①ちゃんと友達の話に相づちを打つこと。

②重要な単語や重要な出来事を伝え返すこと。

③気持ちを分かち合っていて伝えて返すこと。

④友達の事情を全部まとめて言葉にしてあげること。

この4つを守り、友達の話に優しく耳を傾ける。

これを学校の友達全員でマスターすれば

みんなが仲良くなれる。

1つずつマスターすれば、お互いの事がよく分かり

きっと仲良くなれるはず。

題して四葉のクローバー大作戦じゃ！」



こうちょうせんせい  
校長先生がサニーに言いました。

『どうじゃ？ いつも友達を怒らせてしまうサニー！

ちゃんと友達の話<sup>はなし</sup>を聴<sup>き</sup>けていたかな？』

「ごめんよ！みんな・・・オイラ自分の言<sup>い</sup>いたいこと  
だけ言<sup>い</sup>って、みんなの気<sup>き</sup>もちや事<sup>じ</sup>情<sup>じょう</sup>を分<sup>わ</sup>かってあげ  
なかった。でも、ラムはオイラの話<sup>はなし</sup>を優<sup>やさ</sup>しく聴<sup>き</sup>いて  
くれて、本当<sup>ほんとう</sup>の気<sup>き</sup>もちを分<sup>わ</sup>かってくれた。オイラも  
おなじように友<sup>とも</sup>達<sup>たち</sup>の話<sup>はなし</sup>を聴<sup>き</sup>けるようになりたいよ」

『そうじゃな！まずは友<sup>とも</sup>達<sup>たち</sup>の話<sup>はなし</sup>を聴<sup>き</sup>ききって

気<sup>き</sup>もちを分<sup>わ</sup>かってあげる事<sup>こと</sup>がせんけつじゃ。

サニーも本当<sup>ほんとう</sup>は優<sup>やさ</sup>しい子<sup>こ</sup>じゃから出<sup>で</sup>来るはず。

ではバトラー！ モモの話<sup>はなし</sup>を聴<sup>き</sup>きながら

お手<sup>て</sup>本<sup>ほん</sup>を見<sup>み</sup>せてあげなさい！』





おれさま ではん  
「俺様の出番か！」

きょう とくべつ はなし き  
今日は特別に モモの話を 聴いてやろう」

『こらこら、その態度はいかん！

モモにはモモの事情があるはずじゃ。

バトラーにもそれが見えているはず。

優しく聴いてやらんか！』

こうちょうせんせい おれさま おとこ  
「校長先生、俺様は やるときはヤル男！」

まかしておくんなせい！」

するとモモが言いました。

『私は話したくない！』

「話したくないんだな・・・」

バトラーは 話したくない気持ちを

認め、すぐに伝え返しました。

『そうよ・・・だって・・・』

「だってと言うと？」



ためしよみ

は

ここまでです